



アドビシステムズ社、 Adobe AIR 2 と Flash Player 10.1 のベータ版の提供を発表

新しい Flash Platform ランタイムにより、 あらゆる機器環境に最適化されたアプリケーションの実現を目指す

【2009年11月18日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2009年11月17日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は、Adobe Labs(<http://labs.adobe.com/>) を通じて、Adobe® AIR®(Adobe Integrated Runtime) 2 と Adobe Flash® Player 10.1 のベータ版の提供を開始したと発表しました。このベータ版は Windows、Mac、Linux オペレーティングシステムに対応しています。Flash Player 10.1 は x86 ベースのネットブック向けにも、また 2010 年にはスマートフォンをはじめとするさまざまなインターネット接続機器向けにも、それぞれ提供される予定です。Adobe AIR 2 と Flash Player 10.1 は、すべてのサポート対象プラットフォームにおいて、アップデートが容易なため、Web における進化をさらに加速させることにつながります。

Adobe AIR 2 は、AIR 1.0 のアップグレード版です。AIR 1.0 はすでに 2 億台以上のデスクトップコンピュータにインストールされ、Atlantic Records、DIRECTV、FedEx、The New York Times Company、salesforce.com などのさまざまな業界の大手企業に採用されています。AIR 2 により、開発者はこれまで以上に信頼性が高く、機能が豊富なデスクトップアプリケーションを作成できるようになります。AIR 2 の機能は、現在の AIR 1.0 をアップデートするだけで追加できます。AIR 2 は、マストレージ機器やネイティブのアプリケーションプロセス、ピアツーピアと UDP ネットワーキングに対するサポートを強化しています。

Flash Player 10.1 は、表現力豊かなアプリケーション、コンテンツ、HD ビデオによる妥協のない Web ブラウジングをデスクトップやさまざまな機器で実現することをめざす Open Screen Project に基づく初の一貫したブラウザランタイムです。Flash Player 10.1 では、HTTP ストリーミングと Adobe® Flash® Access™ 2.0 によるコンテンツ保護とを組み合わせた新しいメディア配信手段を活用しています。Flash Player 10.1 ではさらに Windows PC、ネットブック、モバイル機器に搭載されたハードウェア H.264 ビデオエンコーディング機能も活用することで、バッテリーを節約しながら極めて優れたビデオ再生時のエクスペリエンスをユーザーに提供します。アドビシステムズ社はまた、日本のユーザーを対象とした改善を行っています。wmode の透明 (transparent) あるいは不透明 (opaque) 設定時に、Firefox でロードした swf 上のテキストフィールドに日本語が入力されない件やインライン入力のサポートも Flash Player 10.1 で提供するよう取り組んでいます。

Adobe Flash Player や Adobe AIR を通じてさまざまな機器や利用環境に対応できる Web アプリケーションを提供

現在、何百万人というデザイナーや開発者が Adobe Flash Platform を使い、Adobe Flash Player や Adobe AIR を通じて表現力豊かな Web コンテンツ、動画、アプリケーションを作成しています。Flash Player 10.1 と Adobe AIR 2 を使用することで、開発者やデザイナーは、同じコード、画像や動画の資産、フレームワーク、ツール、サービスを使用して協業できます。

これによりブラウザーやデスクトップ向けに、さらに将来的にはモバイルプラットフォームをも対象として、極めて表現力の豊かなアプリケーション、コンテンツ、動画を作成することができるようになります。

RIA やクラウドコンピューティングの普及により、インターネットに接続される機器はますます多様化し、それぞれのオペレーティングシステムや機器が提供する機能を活用できるコンテキストual アプリケーションが求められています。開発者は Flash Platform により、さまざまな機器にわたって利用されるコンテンツを維持し、一貫性を保ちながら各機器の特長に合ったユーザー体験を実現する、コンテキストual アプリケーションを作り出すことができます。コンテキストual アプリケーションの詳細については、Adobe Developer Connection (<http://www.adobe.com/jp/devnet/>) をご覧ください。

タッチスクリーンでマルチタッチとジェスチャーのサポート

Adobe AIR 2 と Flash Player 10.1 は、モバイル機器だけでなく、デスクトップに対して革新性と最適化をもたらしました。たとえば、タッチスクリーンを搭載した機器向けには、マルチタッチ ポイントやジェスチャーを使った、まったく新しいタイプのアプリケーションの導入と利用が可能になりました。これによりユーザーはマウスを使わず、画面に触れるだけでコンテンツやアプリケーションを操作することができます。

アドビ システムズ社 プラットフォーム部門担当 ゼネラルマネージャー兼バイスプレジデント デイビッド ワドワニ (David Wadhvani) は、「本日発表の Adobe AIR 2 と Flash Player 10.1 ベータ版は、表現力豊かな Web 体験をすべての機器を通じてどこでも可能にするという、Open Screen Project のビジョンの実現に向けた重要な一歩です。コンテンツクリエイターは、妥協のない Web ブラウジングと共に複数のスクリーンに向けたコンテンツとスタンドアロンのアプリケーションをさまざまなデスクトップやネットブックに提供できるようになります。また、近い将来には多様なモバイル機器でも実現できるようになります」と述べています。

HP のパーソナルシステムズグループ ワールドワイドマーケティング担当上級副社長のサティープ S チャヒール (Satjiv S. Chahil) 氏は、「HP TouchSmart PC を通じ、当社は、お気に入りのサイトやアプリケーションと人々の関わり方を向上させています。開発者が Flash Player や Adobe AIR のコンテンツをマルチタッチ対応のタッチスクリーンに最適化できるようになったことで、HP TouchSmart は開発者にとってこれまで以上に魅力的なプラットフォームとなり、多様なタッチインタラクティブ体験を構築できるようになります。HP とそのパートナー各社は、Adobe Air を使用した Time 100 や US News、World Report Best Colleges など、タッチ中心のプログラムを多数開発しました。HP は今後も、アドビ システムズ社の製品を採用したタッチ志向のソリューションを通じ、技術革新を実現していきます」と述べています。

EffectiveUI のシニア ソフトウェア アーキテクト、RJ オーウェン (RJ Owen) 氏は、「ユーザー体験の設計と開発を行う企業として、EffectiveUI はユーザーが使用するあらゆる機器において最も効果的な体験を提供することに注力しています。マイクロフォン アクセスや加速度計入力といった新機能に対応した Flash Player 10.1 と Adobe AIR 2 により、真に魅力のあるコンテンツとアプリケーションをデスクトップやブラウザー内、モバイル機器に提供できるようになりました」と述べています。

Adobe AIR 2 および Flash Player 10.1 の提供予定

- Adobe AIR 2 および Flash Player 10.1 のプレリリース ベータ版は Adobe Labs から無料でダウンロードできます。
- Adobe AIR 2 ベータ版は、Windows 7、Windows Vista®、Windows® XP、Windows Server® 2003、Mac OS X、Linux® オペレーティングシステムに対応しています。
- Adobe Flash Player 10.1 は、Windows、Macintosh、Linux デスクトップオペレーティングシステム、x86 ベースのネットブックに対応しています。システムの仕様については、以下を参照下さい。
<http://www.adobe.com/products/flashplayer/systemreqs/> >
- Palm webOS 向けの Adobe Flash Player 10.1 パブリック ベータ版の提供は 2009 年中、Google® Android™への対応は 2010 年を予定しています。
また、アドビシステムズ社と RIM 社は、Blackberry® スマートフォン向けの Flash Player に関する共同開発を発表しました。（日本時間 11 月 9 日発表）

関連リンク

- 日本語字幕付 Adobe MAX 2009 基調講演ビデオ
<http://www.adobe.com/jp/joc/events/max2009/video/day1/>
<http://www.adobe.com/jp/joc/events/max2009/video/day2/>
- Adobe MAX 2009 イベントレポート
<http://www.adobe.com/jp/joc/events/max2009/>
- Adobe AIR 2 の機能リスト、開発者およびデザイナー向け
http://blogs.adobe.com/air/2009/10/previewing_adobe_air_2_at_adob.html
- 日本人開発者による Adobe AIR 2.0 beta サンプルアプリケーション
<http://www.adobe.com/jp/joc/air2/samples/>
- Adobe Flash Player 10.1 の新機能や強化された機能
<http://labs.adobe.com/technologies/flashplayer10/features.html>
- Adobe AIR Marketplace
<http://www.adobe.com/cfusion/marketplace/index.cfm?event=marketplace.home&marketplaceid=1>
- Adobe AIR 開発者向けリソース - Adobe Developer Connection
<http://www.adobe.com/devnet/air/>
- Adobe Flash Player 開発者向けリソース - Adobe Developer Connection
<http://www.adobe.com/devnet/flashplayer/>
- MAX 2009 での AIR 2 および Flash Player 10.1 のマルチタッチ機能デモ

<http://www.youtube.com/watch?v=U3F2OpVWJCs>

- Adobe AIR Team Blog
<http://blogs.adobe.com/air/>
- Adobe Flash Platform Blog
<http://blogs.adobe.com/flashplatform/>
- コンテクスチュアル アプリケーションについて
http://www.adobe.com/devnet/flashplatform/context_apps/
- HP TouchSmart PC
<http://www.hp.com/united-states/campaigns/touchsmart/#>
- EffectiveUI
<http://www.effectiveui.com/>

Open Screen Project について

Open Screen Project はアドビ システムズ社が牽引している取り組みです。このプロジェクトには現在 50 社近くの、業界を代表する大手企業が参加し、携帯電話やデスクトップ、その他の家電を対象に、一貫したランタイム環境を実現するために協力しています。参加企業は幅広い機器を対象とする Web ブラウジングや単独の端末で利用するためのアプリケーションによる課題に対処し、コンテンツやアプリケーションをシームレスに画面に表示する際の障害を取り除くことに取り組んでいます。

Adobe Flash Platform

Adobe Flash Platform は、Web のデザインと開発で業界をリードするプラットフォームです。さまざまな OS や機器で同じように動作する表現力豊かなアプリケーション、コンテンツ、動画を作成することができるだけでなく、インターネットに接続された 98% 以上のデスクトップで再生することができます。Flash Player 10 は提供開始以来わずか 10 カ月でコンピュータの 93% 以上にインストールされました。comScore Media Metrix によれば、全世界で視聴されているオンラインビデオの約 75% が Adobe Flash 技術を使って配信されており、Adobe Flash 技術は Web 上で最も普及している動画フォーマットとなっています。Disney.com、MLB.com、DIRECTV などの主要放送局やメディア企業は、Web 上の動画配信に Adobe Flash Platform を使用しており、またこのプラットフォームは YouTube や MySpace などのソーシャルネットワークサイトにも採用されています。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に革新をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。